

# 令和8年度 江戸川区立東小松川小学校 学校経営計画

《確かな学力を育み、一人ひとりの個性が輝く学校》

江戸川区立東小松川小学校 校長 藤島寿晴

## 学校教育目標

ひがこまっ子は みんな仲よし 夢がある ○思いやりのある子 ○考える子 ○やりぬく子 ○じょうぶな子

スローガン「Stand out fit in.」（はみ出して馴染め）

～一人ひとりの個性を大切にしながら共に成長する学校～

## 目指す学校像

子供が**安心して失敗できる**学校

1. 子どもの主体的な学習力を高め、互いのよさを認め合える学校
2. 教職員が子どもの目指すべき社会人であり、教育者である学校
3. 地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にする学校
4. 誰もが「行きたい」と思える心の居場所となる学校

## 目指す児童像

1. 自分を大切にし他を思いやり、一日一日のめあてをもち、積極的に人や物事と関わろうとする児童
2. 基礎的・基本的な学力を基盤とした主体的な学習力を身に付け、夢を見るつよさをもち、未来を粘り強く切り拓く児童
3. 心身の健康と生活習慣の改善のために努力し、健康を維持しようとする行動力のある児童
4. 他人を思いやり、自ら判断し、課題解決に向けて協力できる児童

## 目指す教師像

子供の失敗を認め見守ることのできる教師

- 豊かな人間性をもち、児童の良さを見出し伸ばす教師
- 児童理解を深め、子どもと真摯に向き合う姿勢を示す教師
- 優れた授業実践から学び、進んで授業に生かす教師
- 相互授業公開で学び合い、より良い授業を開発する教師
- 授業力向上を図るために自ら進んで研究・研修する教師
- 学校組織全体を考え、組織的な視野で考える教師
- 法令遵守・体罰根絶を誓い、服務厳正を約束できる教師



○広い視野と協働の気持ちをもった教師

○教育的愛情と使命感をもった教師

## 学校経営の方針

1. 児童・学校・地域の特性・現状と課題を踏まえた学校経営を行う
2. 健康・安全・安心な学校環境づくりに取り組む
3. 児童・職員・保護者・関係者等の人権を尊重した学校経営を行う
4. 学習指導の充実を図り、生きる力を育む
5. 地域とともにある学校づくりを推進する
6. 児童や保護者との信頼関係を基盤とした学校経営を行う
7. 教師力の向上や協働の意識の醸成を図り、活力に満ちた学校の実現を図る

## 重点取組事項

### 1 確かな学力と主体的な学習力の向上

1. 学習規律の徹底と「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践
2. 全ての教育活動を通じた言語活動の充実、表現する機会の充実に基づく思考力・判断力・表現力等の育成
3. 教師のファシリテートによる主体的な学習力向上、「言葉による発信力を高める発問の工夫」
4. 「区学力調査」「ベーシックドリル」を活用した基礎・基本的な学力の定着
5. 教科担任制導入と算数科での習熟度別指導の充実、放課後等を活用した個別指導の充実
6. GIGA School 構想に基づいた ICT 教育の充実
7. 家庭と連携し、予習・復習を重視した学習習慣の確立
8. 児童の実態に応じた補充的・発展的指導の充実支援
9. 明日も学びたいという意欲を育む評価サイクル推進
10. 子ども主体の授業づくりと学びに向かう集団づくり
11. 全校での「よくわかる ひがこまガイド」の順守徹底

### 2 将来を見通した特別支援教育の推進

1. 授業のユニバーサルデザイン化（構造化・視覚化等）の推進
2. 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の確立
3. 支援を必要とする児童の把握と支援の充実（「学校生活支援シート」及び「個別指導計画」に基づく支援と連携）
4. 「ひがこまルーム」を活用した個別指導・共同学習の充実
5. SC、医師、SSW、児童相談所、区教育相談室、巡回相談チーム等との情報行動連携推進

### 3 豊かな人間性と人権意識の育成

1. 自分も他の人も同じように大切にできる児童の育成（よい言動をほめる指導、「学び合い」を重視した授業等）
2. 特別の教科「道徳」と道徳授業地区公開講座の充実
3. 「ふれあい月間」における児童の主体的ないじめの未然防止の取組と教職員の早期発見・早期対応の充実

4. 『人権教育プログラム』による人権課題への取組の充実（人権に関する理解と人権感覚の育成、体罰の根絶）
5. 人権感覚を高める環境整備（掲示物等への評価方法、人権標語、ポスター掲示等）
6. 家庭や地域に発信する人権教育の推進
7. Hyper Q-Uを生かした一人ひとりが大切にされる学級づくり
8. 縦割り班活動の充実と異学年交流、協働を通じた関係づくり

#### 4 たくましい心と体の育成

1. 教科体育の充実（全学年ラグビー型ゲーム教材の導入、コーディネーショントレーニング）
2. 近隣地域施設や近隣校と連携・活用した体育の指導の充実
3. 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の徹底と家庭と連携した健康教育の充実
4. 給食指導と食育指導の充実
5. 体力テストの評価を生かした指導
6. 健康診断の事後指導の徹底
7. 薬物乱用防止に関する教育の推進
8. 性に関する指導の充実
9. 学校保健委員会の充実



#### 5 防災教育と安全教育の推進

1. 区内での災害や東日本大震災に関する防災教育の推進
2. 自分の命を自分で守るための避難訓練・安全指導充実
3. 『交通事故ゼロ』の継続、交通安全・自転車教室の充実
4. 児童の現場での対応力を高めるセーフティ教室の推進
5. 対応マニュアルの活用及びシミュレーション研修による食物アレルギーの対応と事故防止の徹底
6. 全教職員による校内の危険箇所、通学路の危険箇所の定期的な点検の充実と確実かつ迅速な整備の推進
7. 児童の危機予測、回避能力の育成

#### 6 人間力を高めるための生活習慣の確立

1. 『ひがこまスタイル』に基づく望ましい生活習慣の獲得に向け、家庭と連携した学校と家庭の生活習慣の改善
2. 挨拶と返事がいつでも気持ちよくできる児童の育成
3. 「学校生活のきまり」を自ら守る児童の育成（時間を守る、履き物をそろえるなど）
4. 相手の話をよく聞き、自らの考えに生かす児童の育成（『はい、立つ、～です』の指導の徹底）
5. 清掃活動、奉仕活動の充実

#### 7 地域に開かれた、地域と共に歩む学校づくり

1. 区内や地域の全てのことを学ぼうとする意欲ある教員の育成
2. 全ての町民が教育に参加することを目指し、地域・保護者ボランティア、グостьティーチャー等教育力の活用推進

3. 民生児童委員、主任児童委員及び青少年委員、地区委員会・町会等と連携した児童の健全育成・地域貢献活動の推進
4. 学校便り、学年通信、学校 HP 等による情報発信推進（情報の「見える化」）
5. 学校薬剤師等と連携した薬物乱用防止教室の実施
6. PTA・地域図書館との連携で読書活動や学校図書館の充実
7. 蓮田を守る会、学校応援団との連携・協力体制の充実
8. 保護者・地域に「開かれた」学校経営の推進

## 8 SDGs 教育とグローバル教育の推進

1. 区 GreenPlan 推進校として、特色の蓮田栽培等を中心とした体験・探究活動と環境教育
2. Tokyo Global Gateway（4年）や English Day（全校）等を活用した外国語学習の推進
3. 家庭科学習と給食調理が連携した SDGS 思考と自己実現活動
4. 担任、ALT が連携した英語の授業の充実

## 評価・改善

G (Goal Creation) 目標設定 → P (計画) D (実行) C (評価) A (改善) サイクルの実践

### 1. 内部評価

- 教職員による自己点検、自己評価、学校評価、行事等実施後の評価
- 週案、日常の報告・連絡・相談等
- カリキュラム・マネジメント実施評価

### 2. 外部評価

- 学校評議員による意見・保護者アンケート
- 児童アンケート・PTA 本部役員や外部講師等の意見や感想

## 「Stand out fit in.」（はみ出して馴染め）の精神とは：

私たちの学校では、一人ひとりが持つ個性や才能を最大限に発揮しながら（Stand out）、共に学び、共に生きる社会の一員として調和していく（fit in）ことを大切にしています。

自分らしさを大切にしながら他者との違いを認め合い、互いを尊重し、協力しあうことで、一人ひとりが輝きながら共に成長できる学校を目指します。この精神は児童だけでなく、教職員、保護者、地域の方々すべてが大切にする校是です。



	目標	方策
<p>学習指導</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点を明らかにし、児童の「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>○デジタルを活用した教育を推進し、児童の情報活用能力をいくせいする。</p> <p>○午前40分×5校時制により学習密度を高める。<u>別紙</u></p> <p>○学校裁量時間で基礎基本を徹底する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月末までに、学力調査の結果等进行分析して、児童の実態を把握する。7月末までに授業改善推進プランを作成して、児童が自ら考えて問題を解決する楽しさに気付いたり、粘り強く解決したりすることができる指導内容・方法を見直す。年度末までに教科等横断的な視点から年間指導計画等の改善を行う。</li> <li>・月に一度、「デジタルを活用したこれからの学び」に関する研修会を実施し、教科等横断的な視点から教育課程の見直しを図る。各教員が授業等におけるデジタルの活用事例を共有する。年度末までに、好事例をまとめ、保護者・地域及び近隣校に公開する。</li> <li>・午前40分授業を5校時配置する。</li> <li>・午後に裁量時間を創出する。</li> <li>・週2日国語・算数の学力向上タイムを設定する。</li> </ul>
<p>生活指導 進路指導</p>	<p>○いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応を行い、いじめの未解決件数ゼロを目指すとともに、いじめをしない態度・能力を身に付ける。</p> <p>○いじめ未解決件数をゼロにする。</p> <p>○「SOSの出し方に関する教育」を充実させる。</p> <p>○人権尊重の精神を養い、思いやりや助け合い、自他の尊重の心を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科や学級活動などにおいて、いじめ問題を自分事として捉え、考え、議論する体験的な学びを取り入れ、いじめに対して正面から向き合うことができるように全校で取り組む。また全教職員が「東小松川小学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめと疑われる事案が発生次第、迅速かつ確実に学校いじめ対策委員会に報告を行う。</li> <li>・即時報告体制の構築を行う。</li> <li>・「SOSの出し方に関する教育」を全学年において、発達段階に応じて系統的に指導を実施する。</li> <li>・5月末までに生活指導部で「言葉遣い」「呼称」等についての指導方針を設定し、全校で取り組む。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習」の定着に向けて、家庭や地域と連携して取り組む。</li> </ul>

	○望ましい生活習慣を定着させ、気持ちよく安心して生活できる態度を育てる。	
学校運営	<p>○教育課程改革の効果実証</p> <p>○主幹教諭及び主任教諭を中心に、カリキュラム・マネジメントの視点を生かし円滑な校務の推進、組織的な対応ができるよう体制づくりを行う。</p> <p>○校内委員会を計画的に実施し特別支援教育を充実させる。</p> <p>○教職員による体罰及び不適切な指導を根絶する。</p> <p>○食物アレルギー対応について、危機管理を徹底し、事故を未然に防ぐ。</p> <p>○教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果検証会議を年3回実施する。</li> <li>・全教職員の連携・協働による学校評価の実施を通して、教育活動の着実な改善につなげられる組織体制を構築し、PDCA サイクルを確立する。</li> <li>・「学校生活支援シート」の作成や関係諸機関との連携を積極的に行うとともに、配慮を要する児童への指導方法に関する校内研修会を年3回実施する。</li> <li>・職員会議等で管理職からの服務指導を計画的に実施するとともに、体罰防止研修を年3回実施する。</li> <li>・養護教諭を中心に未然防止策を作成するとともに、「食物アレルギー緊急時対応マニュアルに基づく事故時の対応についてのシミュレーション」を研修会で実施し、組織的な対応ができるようにする。</li> <li>・授業時数、学校行事等、教育課程編成に係る見直しを行うとともに、教育DXを推進することにより、業務の負担軽減及び効率化を図る。</li> </ul>
特別活動 その他	<p>○異年齢での集団活動を通してよりよい人間関係をつくろうとする意欲を高める。</p> <p>○地域の一員として地域の方との交流に主体的に取り組む児童を育成する。</p> <p>○近隣の幼稚園、保育所、こども園、中学校との連携を強化し、学校（園）間の教育を円滑に接続する。</p> <p>○健康課題に応じた教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して縦割り班活動を実施する。</li> <li>・10月までに、児童と地域の方との交流会や地域清掃等を計画し、地域の資源を活用した交流の機会をつくる。</li> <li>・年間を通して、生活科や特別活動を通じた園児との交流、クラブ活動等を通じた中学校生徒との交流活動を計画的に実施する。</li> <li>・健康課題の解決に向けた指導計画を作成し、教職員、家庭・地域、関係機関と連携・協働して取り組む。</li> </ul>

能力開発 (OJT、 研究・研修、 自己開発)	<p>○年間を通して人材育成計画に基づいたOJTを推進し、その体制を確立させ、組織的な人材育成を行う。</p> <p>○校内研究（生活・総合）を中心とした研究機会を設定し、自ら指導力の向上を図ろうとする教員を育てる。</p> <p>○主幹教諭を中心として全教員の指導力を向上させる。</p>	<p>・主幹教諭及び主任教諭が主体となって計画的にミニ研修会を実施する。</p> <p>・年間を通じて「授業交流週間」や「校内研修」等を実施し、教員が互いに学び合う機会を設ける。</p> <p>・年3回の授業観察期の他校外での研究・研修会資料を校内配布等共有。</p>
----------------------------------	---	--

別紙

探究活動(ひがこまブランド)

目標	方策	成果指標(数値目標)
○全学年探究 カリキュラム 完全体系化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究プロセス共通化</li> <li>・年間指導計画明示</li> </ul>	<p><b>【ブランド指標】全学年 年間3単元以上実施</b></p> <p><b>探究単元総時数 前年度比+20%</b></p>
○課題設定力の 育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs 視点導入</li> <li>・地域連携深化</li> </ul>	<p><b>「自分で問いを立てた」肯定率 85%以上</b></p> <p><b>児童発表機会 年2回以上 100%</b></p>
○成果発信型 学校への転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術祭で全学年発表</li> <li>・外部公開</li> </ul>	<p><b>保護者満足度 95%以上</b></p> <p><b>区内外公開事例 年2件以上</b></p>

学校運営

目標	方策	成果指標(数値目標)
○教育課程改革 の効果実証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果検証会議年3回実施</li> </ul>	<p><b>40分制効果検証レポート作成</b></p> <p><b>改善策明文化率 100%</b></p>
○教育DX推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務デジタル化推進</li> </ul>	<p><b>ペーパーレス率 90%以上</b></p> <p><b>校務時間 前年度比-15%</b></p>
○体罰・不適切 指導根絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修年3回実施</li> </ul>	<p><b>体罰・不適切指導 0件</b></p>